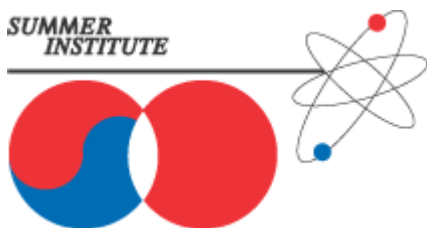


SUMMER  
INSTITUTE



# 次世代理工系研究人材交流事業 — 第 5 回 Summer Institute — 韓国派遣

## 募集要項

2012 年度

主催 財団法人 日韓産業技術協力財団(JKF)  
運営 財団法人 韓日産業・技術協力財団(KJCF)  
企画 社団法人 科学技術国際交流センター(JISTEC)

## 1. 背景

次世代理工系研究人材交流事業(旧理工系大学院生研究交流事業)は、日韓両国の産業技術協力を促進するための次世代人材育成計画の一環として、1993 年度より「Winter Institute」の名称で実施されています。すでに 656 名(2010 年度終了時点)におよぶ韓国の理工系大学院生が、日本の研究機関で産業技術に関連する科学技術分野の研究研修を体験し、韓国の研究機関、大学、企業で活躍され、数多くの日韓産業技術の研究交流に貢献しています。2008 年度より、両国の研究交流をさらに強化促進させるために、「Winter Institute」に加えて日本の理工系大学院生を韓国に派遣して韓国の研究機関で専門分野について研究研修する「Summer Institute」を開始致しました。

## 2. 関係機関

本事業は、外務省の支援のもと、財団法人 日韓産業技術協力財団(JKF)が主催します。社団法人 科学技術国際交流センター(JISTEC) の協力を受け、財団法人 韓日産業・技術協力財団(KJCF) が運営を行います。

## 3. プログラムの目的

この事業の目的は、日本と韓国との産業技術の共同研究のきっかけ作りとその強化推進を行なうことにあります。日韓産業技術の交流を促進させるための人的ネットワークを構築し、両国の産業技術力が向上することを期待しています。

## 4. プログラム概要

韓国の公的研究機関ならびに大学院研究機関をホスト研究機関として、8月から9月にかけての約7週間、希望するテーマ(産業技術に関連する科学技術分野)について研究研修活動を行います。滞在期間中には、専門分野の研究だけでなく韓国語研修や史跡視察・文化体験も予定しています。

## 5. 募集人数

5名(予定)

## 6. 派遣期間

2012年8月1日(水)～

9月15日(土)

<46日間>

## 7. 対象となる研究分野及びテーマ

産業技術に関連する科学技術分野



課外研修：公州&扶餘郡

## プログラムから得られるもの

### ① 海外研究所での研究研修体験

海外の産業技術研究の現場での研究活動による研修体験を通して、研究に関する国際的感覚が磨かれ、将来につながります。

### ② 研究生の能力開発

研究生が、渡航前の事前打合せ、海外研究所での研究遂行、報告書の作成を受入研究機関と協力しながら行うことにより、研究キャリアにおける能力開発の機会が得られます。

### ③ 日本における研究、日本についての新たな視点

日本における研究に対する考え方や方法を再認識する機会に留まらず、日本の文化や日本人に関して、外からの視点で捉えられる機会となります。

### ④ 新たな研究分野の開拓

現在の専攻とは異なる分野、テーマを選ぶことも可能です。自分の適性を見極める良い機会となり、将来の研究活動の指針を決める契機が得られます。

### ⑤ パートナーシップの強化

韓国受入研究機関かつ受入研究者と研究生所属の日本国内研究機関また研究生の指導教官(研究者)等とのパートナーシップが強化されます。また、将来の共同研究への契機に発展する可能性も秘めています。

## 8. 応募資格

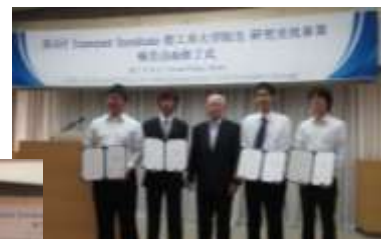
以下の条件を全て満たす者。

- ① 日本国籍ないし日本永住権を有する日本在住者
- ② 参加時点で博士課程又は修士課程に在籍する満 35 歳以下(2012 年 4 月 1 日現在)の者
- ③ 研究研修活動に必要な英語または韓国語の会話力を有する者
- ④ 研究研修活動に支障のない健康な方
- ⑤ 同一研究テーマ・内容で他の奨学金、派遣旅費等の資金の交付を受けていない者

## 9. 選考基準

日本国内で有識者による書類審査を行います。応募者多数の場合は、次の条件をより多く満たしている方を優先的に選考します。

- ① 研究テーマが産業技術と関連している方
- ② 国内外での論文発表経験がある方
- ③ 所属大学、大学院での成績が優秀な方



研究研修報告会

## 10. 支援内容

① 羽田(成田)-ソウル間往復航空券

\*往復航空券の帰国便は、追加費用が発生しない場合に限り、自宅の最寄り空港に変更することができます。

② 事前説明会参加にかかる日本国内交通費(片道 100km 以上より支給)

③ 出発時、帰国時の自宅最寄り駅-利用空港間の日本国内交通費(片道 100km 以上より支給)

④ 入国時、帰国時のソウル利用空港-ホスト研究機関間の韓国国内交通費

⑤ 宿泊費(光熱費含む)

\*宿泊先は、大学内の寮、研究所の宿舍または近隣のホテルになります。

(宿泊先は研究生が手配する必要はありません。)

⑥ 日当(食費、通勤交通費含む。W20,000/日程度)

\*日当の支給は到着した日から、帰国する前日までとする

⑦ 韓国語研修費、課外視察研修費

⑧ 海外旅行傷害保険

## 11. 申込手続き

申し込みの際は以下の書類、原本 1 部、原本のコピー 3 部を送付してください。

\*①Application Form、②申込書に関しては、e-mail でも JISTEC に送信してください。

### 【提出書類】

2012 年度募集の応募に必要な書類は以下の通りです。

① Application Form(英文) \*<http://www.jistec.or.jp/SI/SI.html> から入手

② 申込書(和文) \*<http://www.jistec.or.jp/SI/SI.html> から入手

③ 指導教授の推薦書(英文)

④ 在学証明書(英文)

⑤ 学業成績証明書(英文)

⑥ 語学力証明書(英文)

⑦その他 1: 可能な場合、希望研究室からの受入承諾書、もしくは受入承諾が記載されたメール(英語)

⑧その他 2: 日本永住権を有する者は、外国人登録証(表面/裏面)のコピー

### ① Application Form(英文)

郵送のほか、E メールにて電子データも送信してください。添付の参考研究機関一覧より、希望ホスト研究室を第 3 希望まで選択の上、希望ホスト研究室名、研究者名(可能ならば)を記入してください(一覧にない研究機関でも可とします)。研究機関より受入承諾をもらっている方は、第 1 希望のみ記入してください。

### ② 申込書(和文)

郵送のほか、E メールにて電子データも送信してください。添付の参考研究機関一覧より、希望ホスト研究室を第 3 希望まで選択の上、希望ホスト研究室名、研究者名(可能ならば)を記入してください(一覧にない研究機関でも可とします)。研究機関より受入承諾をもらっている方は、第 1 希望のみ記入してください。

③ 指導教授の推薦書(英文)

研究研修活動に必要な能力(語学力を含める)を有することを、指導教授から推薦書内にて保証してもらってください(特に指定の形式なし)。

④ 在学証明書(英文)

⑤ 学業成績証明書(英文)

学部4年生、修士課程1年は学部4年間の成績表、修士課程2年は1年次の成績表、博士課程1年は修士課程の成績表を提出してください。

⑥ 語学力証明書(英文)

公的機関が発行した英語または韓国語の証明書があれば、そのコピーを提出してください。

⑦ その他1:ホスト研究室からの受入承諾書(英文)(可能な場合)

受入承諾の内容が記載されたメール(英文)を印刷して、提出してください。(特に指定の形式なし)

⑧ その他2:外国人登録証、表・裏面のコピー

日本永住権を有する方は、外国人登録証のコピーを提出してください。

※申請書類に記入された個人情報は、当プログラムに関する選考審査および案内書類作成のために使用するものであり、他の目的には使用致しません。

※提出された申込書類は一切返却致しませんので、必要な方は各自コピーを取って保管してください。

【申込受付期間】

**2012年3月19日(月)~4月13日(金) ※17時 必着**

【郵送:提出書類の送付先】

所定の書類を以下の住所にお送りください。

〒112-0001 東京都文京区白山5-1-3 東京富山会館ビル5階

社団法人 科学技術国際交流センター(JISTEC) 事業部 TEL: 03-3818-0730

封筒に「**Summer Institute 申込書類在中**」と朱書きしてください。

【メール:①Application Form、②申込書の送付先】

**summerinstitute@jistec.or.jp** 宛に件名「FY2012SI 申込」と記載の上、送信してください。

【問い合わせ先】

社団法人 科学技術国際交流センター(JISTEC) Summer Institute 担当窓口

e-mail: summerinstitute@jistec.or.jp

TEL: 03-3818-0730(代表)

## 12. 申込、選考、合格後のスケジュール

事項	実施期間	内容
申込締め切り	2012年4月13日(金) 17時必着	必要書類をJISTECに郵送の上、 e-mailにて以下を提出 <b>①Application Form、②申込書</b>
選考結果通知	5月21日(月)予定	e-mail および書面にて通知 (※合格者は誓約書を提出)
プログラム説明会	6月8日(金) 14:00-16:30	合格者対象、 <b>参加必須</b> 開催場所:東京千代田区
出国、開講式等	8月1日(水)	宿泊場所到着後、 簡単なオリエンテーションあり
韓国語研修、文化研修	8月2日(木)	ソウル市内(会場未定)
課外視察研修	8月3日(金)	ソウル市内の史跡・文化視察
研究研修活動	8月6日(月)～9月13日(木)	各ホスト研究機関にて活動
研究研修報告書、 アンケートの提出締め切り	9月13日(木)	
研究研修活動報告会、 修了式等	9月14日(金)	ソウル市内(会場未定)
帰国	9月15日(土)	
体験談提出締め切り	10月5日(月)	JISTEC にメールにて提出

●スケジュールは変更の可能性があります。

※研究研修内容、プランの詳細等は、KJCFまたはJISTECからの情報提供は致しません。**合格者は合格通知受諾後、研究研修内容、プランの詳細に関して、必ずホスト研究者と直接連絡を取ってください。**



韓国礼儀作法／韓国伝統衣装体験



キムチ作り体験

### 13. 制約条件(Terms and condition)

- ① 研究生の日本側の身元保証人は(財)日韓産業技術協力財団(JKF)とし、韓国側の身元引受人は財団法人 韓日産業・技術協力財団(KJCF)とします。
- ② KJCFは研究生の訪韓後の疾病、負傷等が当該研究室等の責に帰すべき事由によらない限り、一切の責任を負いません。
- ③ KJCFは次のような理由により、研究生が研究研修を続行することが困難と判断した場合は、JISTEC、当該研究室並びにJKFと協議の上、研究生の帰国を含む必要な措置をとります。
  - ・ 疾病
  - ・ KJCFまたはホスト研究者の指示に従わない場合
  - ・ 語学能力の不足またはその他の理由により、ホスト研究者とのコミュニケーションに相当大きな支障があると判断される場合
- ④ JKFは研究生が韓国滞在中に好ましくない行為を行い、または損害を与えた場合は、その責任において解決するための必要な措置をとります。
- ⑤ JKF及び駐韓国日本大使館は研究生の滞在中に生ずる如何なる問題についても、KJCFと協議の上、誠意を持って解決に努めます。
- ⑥ 研究生は知的財産権等の諸問題を含め、当該研究室の諸規則を遵守してください。
- ⑦ 個人情報適切に管理し、保護に努めてください。
- ⑧ 書面たると否とを問わず、当該研究室で行った研究研修の成果を公表しようとする場合は、事前に当該研究室の長の同意を得てください。
- ⑨ 研究研修の辞退は原則として認めません。  
ただし、研究生の親族の危篤又は死亡等の特別な理由がある場合は、当該研究室が了承の上、辞退を認めます。なお、辞退に要する総ての費用は本人の負担とします。
- ⑩ 研究研修期間中の一時帰国は原則として認めません。  
ただし、研究生の親族の危篤又は死亡等の特別な理由がある場合は、当該研究室と協議の上、研究研修に支障をきたさない範囲内で一時帰国を認めます。なお、一時帰国に要する総ての費用は本人の負担とします。
- ⑪ 家族の同伴は認められません。
- ⑫ プログラム説明会には必ず参加してください。
- ⑬ 研究生は研究研修の終了に際し、研究研修報告書を当該研究室に提出すると共に、研究研修報告書を指定期日までに関係機関に提出してください。また、プログラム終了後も、アンケートや体験談等、関係機関が求める調査に協力をしてください。
- ⑭ 研究生の氏名および所属機関名、また体験談等は、Summer Instituteの広報活動の一環でJISTECウェブサイトや刊行物等で公開することもあります。

### 14. 参考ホームページ

財団法人 日韓産業技術協力財団(JKF) : <http://www.jkf.or.jp/>

財団法人 韓日産業・技術協力財団(KJCF) : <http://www.kjc.or.kr>

社団法人 科学技術国際交流センター(JISTEC) : <http://www.jistec.or.jp/>

問い合わせ先

財団法人 日韓産業技術協力財団  
〒102-0082 東京都千代田区一番町8番地  
(一番町 FSビル 2階)  
Tel : +81 (0)3 3222-5231(代表)  
Fax: +81 (0)3 5275-7368

財団法人 韓日産業・技術協力財団  
Seoul 特別市江南區論峴 2洞 112-15  
韓日 B/D 5F 135-821 KOREA  
Tel : +82(0) 2-3014-9823  
Fax: +82(0) 2-3014-9824  
URL: <http://www.kjc.or.kr/>

社団法人 科学技術国際交流センター  
〒112-0001 東京都文京区白山 5-1-3  
(東京富山会館ビル 5階)  
Tel : +81 (0)3 3818-0730(代表)  
Fax: +81 (0)3 3818-0750  
URL: <http://www.iistec.or.jp>